

## 日本透析医会雑誌の発刊にあたって

すでに御存知の如く昭和54年4月15日、透析医療の向上や社会福祉の増進などに貢献することを目的として、「都道府県透析医会連合会」が設立され、わが国の透析医療に関する調査研究および従事者への教育指導などが行われて来ておりました。

その後も慢性透析症例数の著しい増加や長期生存率の向上などから、透析療法は末期腎不全の単なる一治療手段のみと考えるわけにはゆかず、ことに本邦のごとき福祉国家においては医学的ならびに社会的に重大な数々の問題が提起されつつあるのであります。このような見通しから都道府県透析医会連合会では昭和57年度の総会において、わが福祉国家にふさわしい透析医療のあり方を常に社会的ならびに医学的な最高レベルに置くため、公益法人化が決議され、以後、監督官庁や日本医師会の指導のもとに“社団法人化”への準備が続けられて参りました。

昨年春頃より、厚生省および日本医師会と数回にわたる対話の機会が得られ、3項目の法人設立に向っての条件を提示して頂くことが出来たのであります。これらの条件を検討しながら本会員の組織率の向上に努力するとともに、事業実績をより一層明確にするため、当局よりご指示頂いた「日本透析医会」の名称を以てここに発足することになった次第であります。本会の役員につきましては連合会で多年ご努力されました先生方で構成されるべきと信じておりましたが、これらの皆様方の強い要請により、不肖わたくしが会長をお引受けすることになったのであります。この度、日本透析医会雑誌の発刊にあたり、私としましては最善の努力を惜しまないつもりではおりますが、本会の有意義な発展のため各位の十分な御理解と絶大な御協力を心からお願いするものであります。

昭和60年7月

日本透析医会

会長 稲生 綱 政